

総務教育常任委員会資料

(令和8年10月8日)

〔件名〕

- ・ 令和7年国勢調査人口等基本集計における調査結果（確定値）について
【統計課】・・・2
- ・ 「県立高等専門学校についてのアンケート」の結果について
【教育学術課】・・・14
- ・ 令和8年度第2回県有施設・資産有効活用戦略会議の開催結果について
【行財政改革推進課】・・・16

総 務 部

令和7年国勢調査人口等基本集計における調査結果(確定値)について

令和8年10月8日

統 計 課

国において、令和7年国勢調査人口等基本集計の確定値が令和8年9月29日(火)に公表されましたので、その概要(令和7年10月1日現在)について報告します。

1 鳥取県の人口と世帯 ―人口は、5.5%減少―

人口は、523,073人で前回(令和2年調査)と比べ、30,334人(5.5%)減少。減少幅は2.0ポイント(▲3.5%→▲5.5%)拡大し、減少数、減少率ともに調査開始以来最大となった。

また、総世帯数は220,800世帯で、1,058世帯(0.5%)増加した。

区 分		確定値	対前回増減 (R2～R7)	対前回増減 (H27～R2)
人口	総数	523,073 人	▲30,334 人 (▲5.5%)	▲20,034 人 (▲3.5%)
	男	250,396 人	▲14,036 人 (▲5.3%)	▲9,273 人 (▲3.4%)
	女	272,677 人	▲16,298 人 (▲5.6%)	▲10,761 人 (▲3.6%)
総世帯数		220,800 世帯	+1,058 世帯 (+0.5%)	+2,848 世帯 (+1.3%)

※速報値との差

令和8年5月29日に公表した人口及び世帯の速報値との差は次のとおりです。

区分	確定値 (A)	速報値 (B)	差 (A－B)
人口総数	523,073 人	523,732 人	▲659 人
総世帯数	220,800 世帯	220,185 世帯	+615 世帯

【増減理由】

- ・人 口 減 一般世帯及び施設等世帯における高齢者の重複など。
- ・世帯数増 世帯の決め方など。(会社の独身寮、サービス付き高齢者向け住宅等において、建物一つで一世帯としていた箇所があったこと等)

※上記確定値を基にした令和8年9月1日現在の推計人口及び推計世帯数

推計人口：516,746 人 推計世帯数：220,713 世帯

2 鳥取県の年齢3区分別人口の状況 ―生産年齢人口割合は調査開始以来最低―

15歳未満人口は13.0%、15歳～64歳人口は7.4%減少し、65歳以上人口は0.7%増加した。また、生産年齢人口割合は調査開始以来最低となった。

区 分	人口【割合】	対前回増減 (R2～R7)	対前回増減 (H27～R2)
15歳未満	59,608 人【11.4%】	▲8,915 人 (▲13.0%)	▲5,307 人 (▲7.2%)
15～64 歳	283,821 人【54.3%】	▲22,827 人 (▲7.4%)	▲23,070 人 (▲7.0%)
65歳以上	179,432 人【34.3%】	+1,207 人 (+0.7%)	+8,332 人 (+4.9%)

注) R7 は年齢不詳が残っているため各年齢区分の合計は人口総数に一致しない。

3 鳥取県の外国人人口

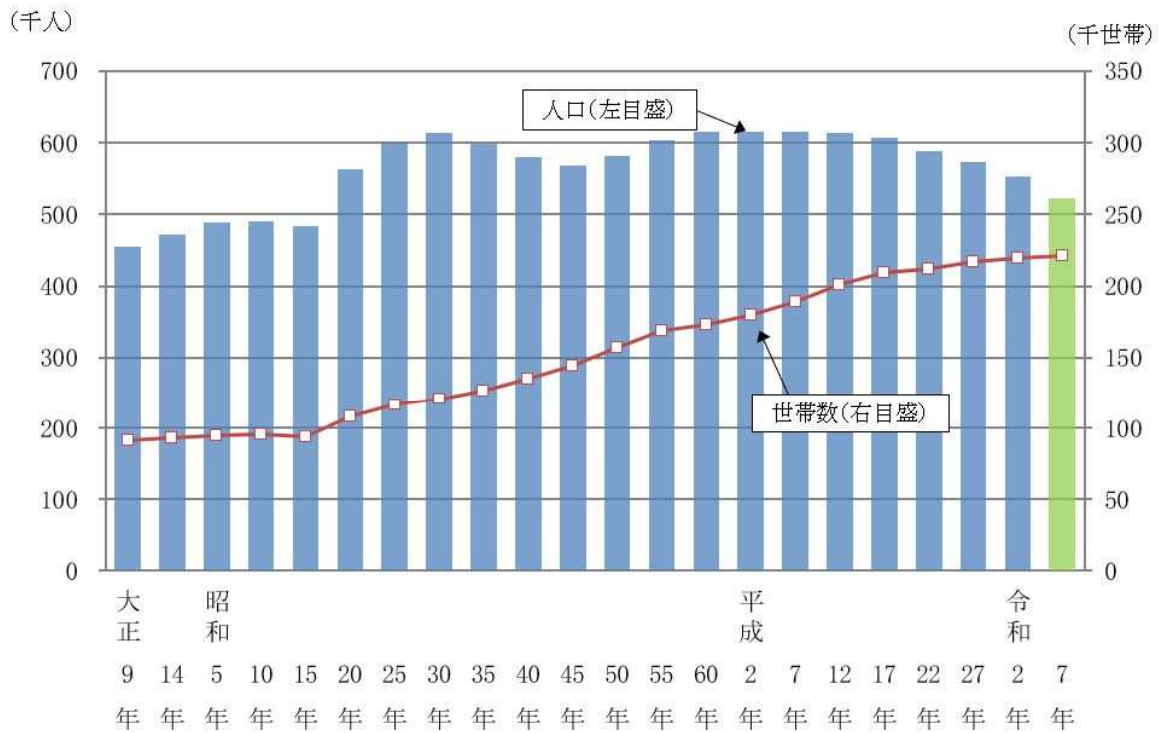
鳥取県に在住する外国人は6,088人で、前回調査と比べて1,450人(31.3%)増加し、県人口に占める割合は1.2%となった。

国籍別にみると、「ベトナム」が1,541人(外国人人口の25.3%)と最も多く、次いで「フィリピン」766人(同12.6%)、「韓国・朝鮮」745人(同12.2%)、「中国」715人(同11.7%)の順となった。

区 分	人口【割合】	対前回増減 (R2～R7)	対前回増減 (H27～R2)
日本人	516,926 人【98.8%】	▲31,843 人 (▲5.8%)	▲21,268 人 (▲3.7%)
外国人	6,088 人【1.2%】	+1,450 人 (+31.3%)	+1,234 人 (+36.3%)

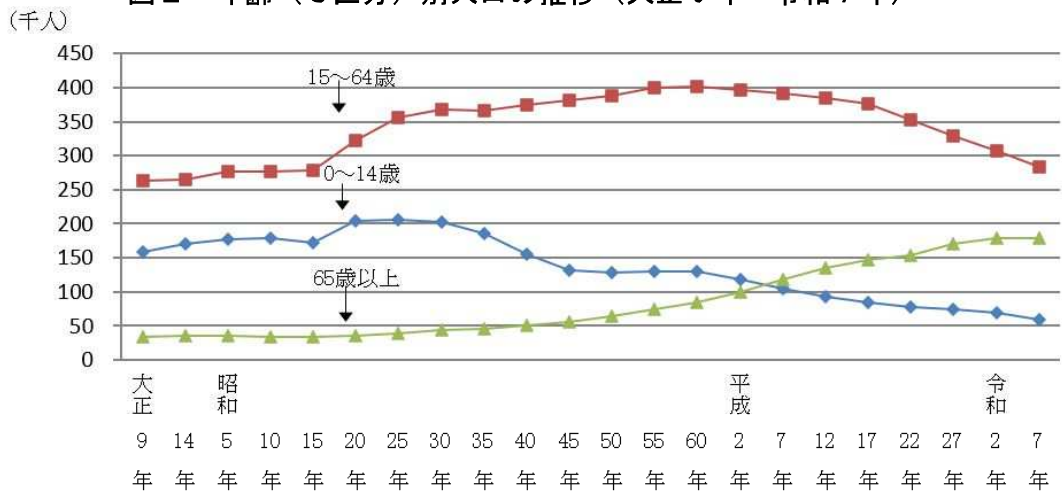
注) R7 は国籍不詳が残っているため日本人と外国人の合計は人口総数に一致しない。

図1 人口と世帯数の推移



- (注) 1 総世帯数は、昭和 60 年以降は「一般世帯及び施設等の世帯」、昭和 55 年以前は「普通世帯及び準世帯」の総数による。
 2 昭和 20 年は、人口調査結果による。(昭和 22 年臨時国勢調査の年齢別人口は不詳のため)

図2 年齢（3区分）別人口の推移（大正 9 年～令和 7 年）



- (注) 1 昭和 20 年は、人口調査結果による。(昭和 22 年臨時国勢調査の年齢別人口は不詳のため)
 2 平成 27 年以降の年齢不詳については不詳補完の手法を用いて人口を算出。

令和7年国勢調査結果(確定値)の概要

－人口等基本集計－

令和8年9月29日
鳥取県総務部統計課

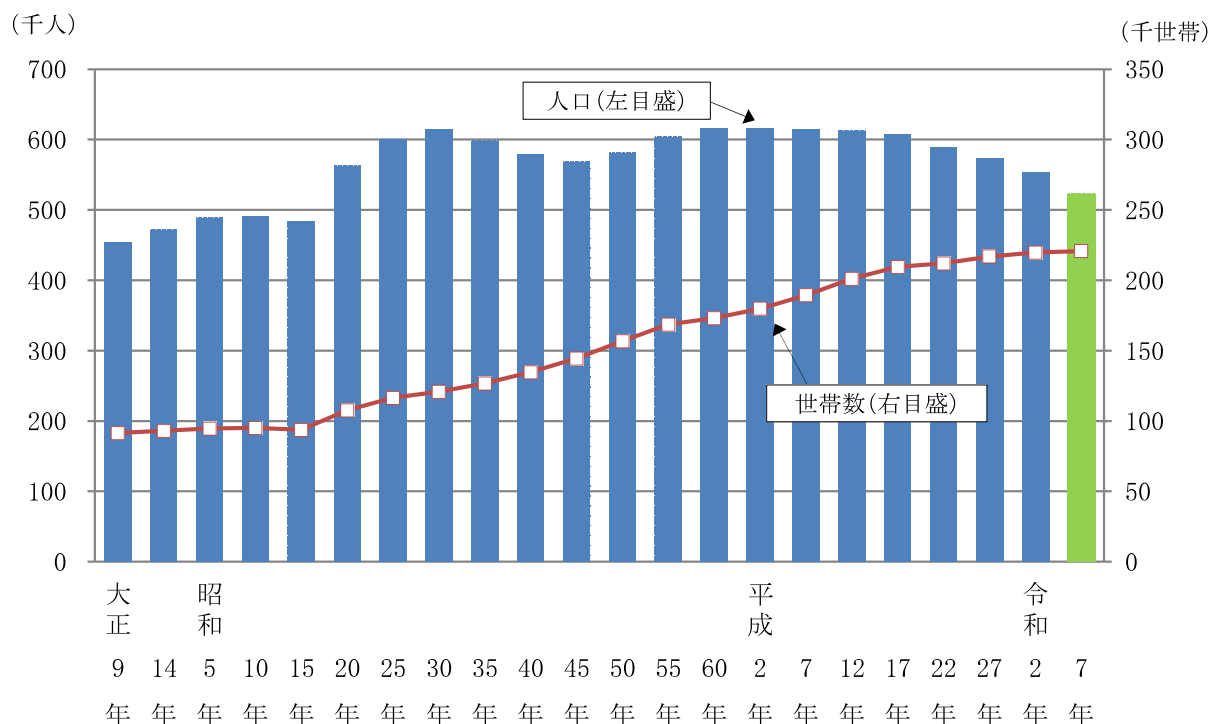
1 人口と世帯

令和7年国勢調査による令和7年10月1日現在の鳥取県の人口は523,073人で、前回調査(令和2年)と比べて30,334人(5.5%)減少した。

5年ごとの人口の推移をみると、昭和60年(616,024人)が最多で、平成2年から減少が続いており、減少幅も拡大し続け、平成27年調査で一旦減少幅が縮小したが、令和2年から再び拡大に転じ、今回調査では減少数、減少率ともに調査開始以来最大となった。

総人口を男女別にみると、男性が250,396人(総人口の47.9%)、女性が272,677人(同52.1%)となった。総世帯数は、220,800世帯で前回調査と比べて1,058世帯(0.5%)増加した。

図1 人口と世帯数の推移(大正9年～令和7年)



(注) 1 総世帯数は、昭和60年以降は「一般世帯及び施設等の世帯」、昭和55年以前は「普通世帯及び準世帯」の総数による。
2 昭和20年は、人口調査結果による。

調査の概要

- ・調査の時期 令和7年10月1日午前零時現在によって行われた。
- ・調査の対象 調査時において、住民基本台帳登録の有無に関係なく、鳥取県内に3か月以上にわたって住んでいるか又は住むことになっている者(外国人を含む。)
- ・調査事項
 - 【世帯員に関する事項】
氏名、男女の別、出生の年月、世帯主との続き柄、配偶の関係、国籍、現住居での居住期間、5年前の住居の所在地、在学、卒業等教育の状況、就業状態、所属の事業所の名称及び事業の種類、仕事の種類、従業上の地位、従業地又は通学地、従業地又は通学地までの利用交通手段
 - 【世帯に関する事項】
世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方

表1 国勢調査による県人口及び世帯数の推移

調査年	人口 (人)	前回対比		総世帯数 (世帯)	前回対比		1世帯あたりの 世帯人員 (人)
		増減数(人)	増減率(%)		増減数(人)	増減率(人)	
大正9年	454,675	—	—	91,499	—	—	4.97
14年	472,230	17,555	3.9	93,125	1,626	1.8	5.07
昭和5年	489,266	17,036	3.6	94,729	1,604	1.7	5.16
10年	490,461	1,195	0.2	95,079	350	0.4	5.16
15年	484,390	-6,071	-1.2	93,781	-1,298	-1.4	5.17
20年	563,220	78,830	16.3	107,636	13,855	14.8	5.23
25年	600,177	36,957	6.6	116,530	8,894	8.3	5.15
30年	614,259	14,082	2.3	120,879	4,349	3.7	5.08
35年	599,135	-15,124	-2.5	126,805	5,926	4.9	4.72
40年	579,853	-19,282	-3.2	134,666	7,861	6.2	4.31
45年	568,777	-11,076	-1.9	144,537	9,871	7.3	3.94
50年	581,311	12,534	2.2	156,826	12,289	8.5	3.71
55年	604,221	22,910	3.9	168,520	11,694	7.5	3.59
60年	616,024	11,803	2.0	173,211	4,691	2.8	3.56
平成2年	615,722	-302	0.0	179,829	6,618	3.8	3.42
7年	614,929	-793	-0.1	189,405	9,576	5.3	3.25
12年	613,289	-1,640	-0.3	201,067	11,662	6.2	3.05
17年	607,012	-6,277	-1.0	209,541	8,474	4.2	2.90
22年	588,667	-18,345	-3.0	211,964	2,423	1.2	2.78
27年	573,441	-15,226	-2.6	216,894	4,930	2.3	2.64
令和2年	553,407	-20,034	-3.5	219,742	2,848	1.3	2.52
7年	523,073	-30,334	-5.5	220,800	1,058	0.5	2.37

(注) 1 総世帯数は、昭和60年以降は「一般世帯及び施設等の世帯」、昭和55年以前は「普通世帯及び準世帯」の総数による。

2 昭和20年は、人口調査結果による。

2 市町村別人口

人口を市町村別に見ると、鳥取市が179,243人と最も多く、全県の34.3%を占めている。次いで米子市(142,893人)、倉吉市(43,198人)、境港市(31,051人)と続いており、4市を合わせると396,385人で、全県の7割以上(75.8%)を占めている。

人口を前回調査と比べるとすべての市町村で人口が減少し、減少率は若桜町が18.4%減と最も高く、次に日南町が14.6%減、日野町が14.3%減となっている。

人口増減率を前回調査と比べると、日吉津村が人口増加から人口減少に転じ、その他の18市町でも人口減少が加速したことから、県全体で人口減少が強まった。

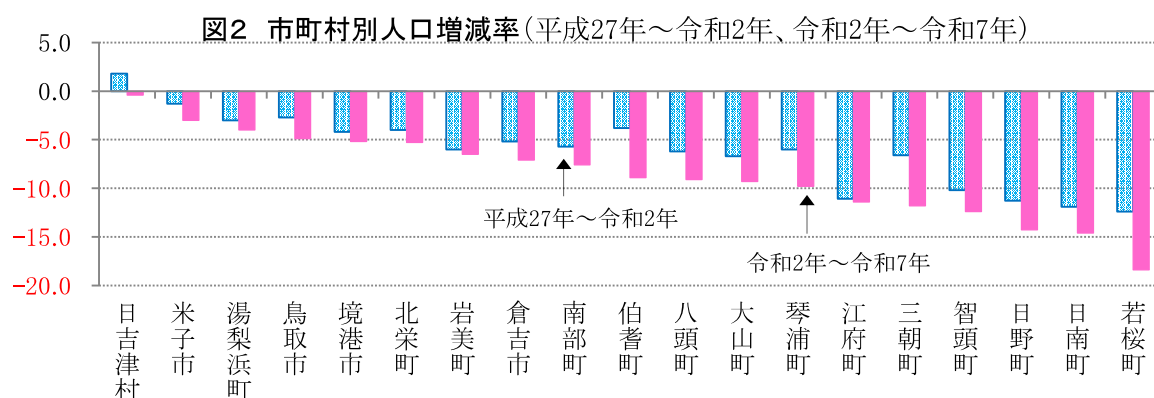


表2 市町村別平成27年～令和2年及び令和2年～令和7年の人口増減の関係

令和2年～令和7年の人口増減	前回人口増減率との比較	市町村名、増減率の差(ポイント)
人口が増加	増加幅が拡大	該当なし
	増加幅が縮小	該当なし
	減少から増加に転換	該当なし
人口が減少	増加から減少に転換	日吉津村(-2.2) 計 1
	減少幅が縮小	該当なし
	減少幅が拡大	江府町(-0.3)、岩美町(-0.5)、湯梨浜町(-1.0)、境港市(-1.0)、北栄町(-1.3)、米子市(-1.7)、倉吉市(-1.9)、南部町(-1.9)、鳥取市(-2.2)、智頭町(-2.2)、大山町(-2.6)、日南町(-2.7)、八頭町(-2.9)、日野町(-3.0)、琴浦町(-3.8)、伯耆町(-5.1)、三朝町(-5.2)、若桜町(-6.0) 計 18

表3 市町村別人口及び世帯数(平成27年～令和7年)

市町村	令和7年					令和2年			平成27年	人口の5年間の増減率(%)		
	総世帯数 (世帯)	人 口(人)				人 口(人)			人口 総数 (人)	R2 R7	順位	H27 R2
		総 数	順位	男	女	総数	男	女				
県 計	220,800	523,073	—	250,396	272,677	553,407	264,432	288,975	573,441	-5.5	—	-3.5
東部地区	90,161	211,799	—	102,534	109,265	224,492	108,505	115,987	232,610	-5.7	—	-3.5
中部地区	36,674	92,186	—	43,791	48,395	99,193	46,872	52,321	104,320	-7.1	—	-4.9
西部地区	93,965	219,088	—	104,071	115,017	229,722	109,055	120,667	236,511	-4.6	—	-2.9
鳥 取 市	77,720	179,243	1	87,037	92,206	188,465	91,356	97,109	193,717	-4.9	4	-2.7
米 子 市	63,555	142,893	2	67,814	75,079	147,317	69,740	77,577	149,313	-3.0	2	-1.3
倉 吉 市	18,216	43,198	3	20,381	22,817	46,485	21,840	24,645	49,044	-7.1	8	-5.2
境 港 市	13,299	31,051	4	14,821	16,230	32,740	15,775	16,965	34,174	-5.2	5	-4.2
岩 美 町	3,957	10,099	10	4,850	5,249	10,799	5,178	5,621	11,485	-6.5	7	-6.0
若 桜 町	1,040	2,338	19	1,107	1,231	2,864	1,355	1,509	3,269	-18.4	19	-12.4
智 頭 町	2,229	5,633	13	2,613	3,020	6,427	3,005	3,422	7,154	-12.4	16	-10.2
八 頭 町	5,215	14,486	7	6,927	7,559	15,937	7,611	8,326	16,985	-9.1	11	-6.2
三 朝 町	2,120	5,343	14	2,592	2,751	6,060	2,875	3,185	6,490	-11.8	15	-6.6
湯梨浜町	5,715	15,420	5	7,374	8,046	16,055	7,657	8,398	16,550	-4.0	3	-3.0
琴 浦 町	5,626	14,756	6	6,976	7,780	16,365	7,682	8,683	17,416	-9.8	13	-6.0
北 栄 町	4,997	13,469	9	6,468	7,001	14,228	6,818	7,410	14,820	-5.3	6	-4.0
日吉津村	1,295	3,487	16	1,642	1,845	3,501	1,628	1,873	3,439	-0.4	1	1.8
大 山 町	5,064	13,937	8	6,653	7,284	15,370	7,390	7,980	16,470	-9.3	12	-6.7
南 部 町	3,560	9,539	12	4,551	4,988	10,323	4,925	5,398	10,950	-7.6	9	-5.7
伯 耆 町	3,586	9,741	11	4,633	5,108	10,696	5,051	5,645	11,118	-8.9	10	-3.8
日 南 町	1,614	3,582	15	1,721	1,861	4,196	1,982	2,214	4,765	-14.6	18	-11.9
日 野 町	1,096	2,490	17	1,135	1,355	2,907	1,323	1,584	3,278	-14.3	17	-11.3
江 府 町	896	2,368	18	1,101	1,267	2,672	1,241	1,431	3,004	-11.4	14	-11.1

(注)・東部地区…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

・中部地区…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

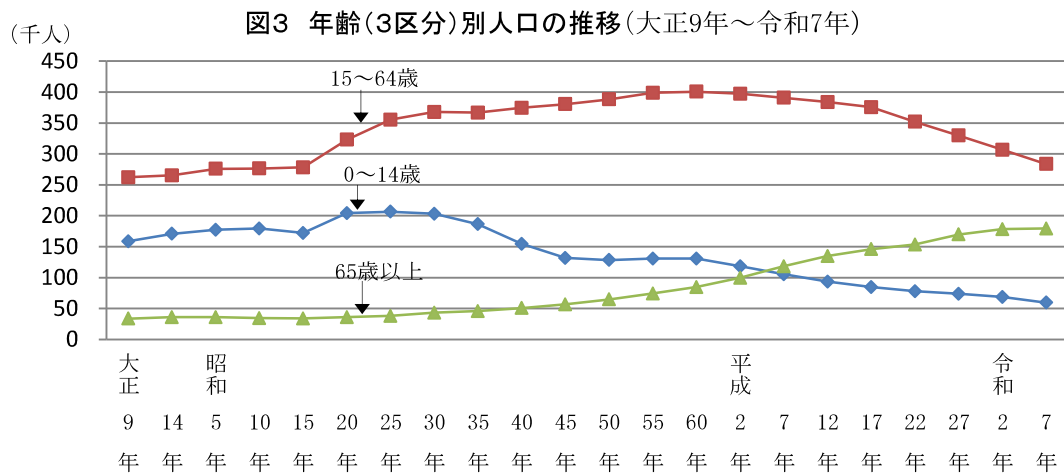
・西部地区…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

3 年齢別人口

人口を年齢(3区分)別にみると、15歳未満人口が59,608人(総人口の11.4%)、15～64歳人口が283,821人(同54.3%)、65歳以上人口が179,432人(同34.3%)となった。

前回調査と比べると、15歳未満人口が8,915人(13.0%)減、15～64歳人口が22,827人(7.4%)減、65歳以上人口が1,207人(0.7%)増となった。また、人口に占める割合は、15歳未満人口が12.4%から11.4%に低下、15～64歳人口が55.4%から54.3%に低下、65歳以上人口が32.2%から34.3%に上昇している。

65歳以上人口の割合は調査開始以来最高、15歳未満人口及び15～64歳人口の割合は調査開始以来最低となった。



(注) 1 昭和20年は、人口調査結果による。

2 平成27年以降の年齢区分別人口は年齢不詳を補完して算出した不詳補完値。

表4 年齢(3区分)別人口の推移(大正9年～令和7年)

調査年	総数 (人)	人口(人)			割合(%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大正9年	454,675	158,675	262,362	33,638	34.9	57.7	7.4
14年	472,230	170,913	265,373	35,944	36.2	56.2	7.6
昭和5年	489,266	177,327	276,008	35,931	36.2	56.4	7.3
10年	490,461	179,465	276,364	34,632	36.6	56.3	7.1
15年	484,390	172,154	278,236	33,916	35.5	57.5	7.0
20年	563,220	204,180	322,964	36,076	36.3	57.3	6.4
25年	600,177	206,630	355,386	38,067	34.4	59.2	6.3
30年	614,259	203,181	367,869	43,208	33.1	59.9	7.0
35年	599,135	186,407	366,761	45,967	31.1	61.2	7.7
40年	579,853	154,589	374,525	50,739	26.7	64.6	8.8
45年	568,777	131,725	380,499	56,553	23.2	66.9	9.9
50年	581,311	128,361	388,155	64,720	22.1	66.8	11.1
55年	604,221	130,631	398,944	74,474	21.6	66.0	12.3
60年	616,024	130,668	400,717	84,609	21.2	65.1	13.7
平成2年	615,722	118,201	397,218	99,728	19.2	64.6	16.2
7年	614,929	105,456	390,964	118,380	17.2	63.6	19.3
12年	613,289	93,584	383,921	134,984	15.3	62.7	22.0
17年	607,012	84,823	375,539	146,113	14.0	61.9	24.1
22年	588,667	77,951	352,098	153,614	13.4	60.3	26.3
27年	573,441	73,830	329,718	169,893	12.9	57.5	29.6
令和2年	553,407	68,523	306,648	178,225	12.4	55.4	32.2
7年	523,073	59,608	283,821	179,432	11.4	54.3	34.3

(注) 1 総数には、年齢不詳を含む。

2 平成27年以降の年齢区分別人口は年齢不詳を補完して算出した不詳補完値。割合については、年齢不詳を除いて算出した。

3 昭和20年は、人口調査結果による。

4 世帯の状況

鳥取県の総世帯数は、220,800世帯で、一般世帯数は220,024 世帯である。
一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が78,041 世帯（一般世帯の35.5%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっている。

令和2年～令和7年の増減をみると、世帯人員が少なくなるほど増加率が高くなる傾向にあり、世帯人員が2人以下の世帯ではいずれも増加しているのに対し、3人以上の世帯ではいずれも減少しており、特に7人以上の世帯では30%以上減少している。

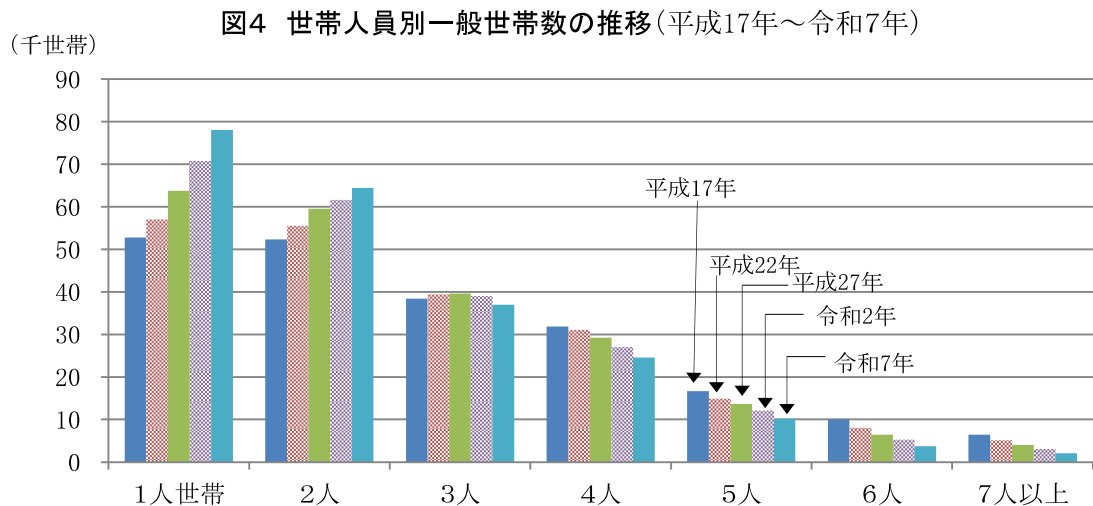


表5 世帯人員別一般世帯数の推移（平成17年～令和7年）

（単位：世帯）

年 次		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
実 数 （ 世 帯 ）	平成17年	208,526	52,804	52,323	38,433	31,853	16,668	10,007	6,438
	平成22年	211,396	57,078	55,535	39,465	31,107	14,958	8,080	5,173
	平成27年	216,244	63,773	59,527	39,606	29,233	13,668	6,414	4,023
	令和2年	219,069	70,641	61,686	39,109	27,069	12,144	5,279	3,141
	令和7年	220,024	78,041	64,457	36,995	24,578	10,173	3,721	2,059
増 減 数	平成17年 ～ 平成22年	2,870	4,274	3,212	1,032	-746	-1,710	-1,927	-1,265
	平成22年 ～ 平成27年	4,848	6,695	3,992	141	-1,874	-1,290	-1,666	-1,150
	平成27年 ～ 令和2年	2,825	6,868	2,159	-497	-2,164	-1,524	-1,135	-882
	令和2年 ～ 令和7年	955	7,400	2,771	-2,114	-2,491	-1,971	-1,558	-1,082
増 減 率 （ ％ ）	平成17年 ～ 平成22年	1.4	8.1	6.1	2.7	-2.3	-10.3	-19.3	-19.6
	平成22年 ～ 平成27年	2.3	11.7	7.2	0.4	-6.0	-8.6	-20.6	-22.2
	平成27年 ～ 令和2年	1.3	10.8	3.6	-1.3	-7.4	-11.2	-17.7	-21.9
	令和2年 ～ 令和7年	0.4	10.5	4.5	-5.4	-9.2	-16.2	-29.5	-34.4
割 合 （ ％ ）	平成17年	100.0	25.3	25.1	18.4	15.3	8.0	4.8	3.1
	平成22年	100.0	27.0	26.3	18.7	14.7	7.1	3.8	2.4
	平成27年	100.0	29.5	27.5	18.3	13.5	6.3	3.0	1.9
	令和2年	100.0	32.2	28.2	17.9	12.4	5.5	2.4	1.4
	令和7年	100.0	35.5	29.3	16.8	11.2	4.6	1.7	0.9

世帯の種類

国勢調査では世帯を「一般世帯」「施設等の世帯」の二種類に区分している。

「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外をいう。

「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。